

第26回エコクリティシズム研究学会

日時：2013年8月9日（金）15時30分—8月10日（土）16時45分

場所：広島修道大学 <http://www.shudo-u.ac.jp/> 2号館2103 マルチメディア教室

8月9日（金）14時—15時15分 役員会 2号館2203教室

プ ロ グ ラ ム

15時30分 総合司会 三重野佳子（別府大学）  
開会の辞 伊藤詔子（学会代表）  
開催校挨拶 塩田 弘（広島修道大学）

ワークショップ1 15時40分—17時10分

「21世紀のエコクリティシズムの実践を読む

—*Environmental Criticism for the Twenty-First Century*」

司会・担当：浅井千晶（千里金蘭大学）

担当：熊本早苗（岩手県立大学）/日臺晴子（東京海洋大学）

深井美智子（神戸女子大学）/水野敦子（山陽女子短期大学）

17時10分—17時40分 総会

18時30分—20時30分 懇親会「夢料理 おとぎや」（広島市安佐南区緑井6-1-6）

連絡先：082-877-8030（出欠などご案内は幹事の谷岡さんからメールがあります。）

8月10日（土）

ワークショップ2 10時00分—11時30分

「*American Literature*のエコクリティシズム特集号（第84巻2号、2012年）をめぐって」

司会・担当：大野美砂（東京海洋大学）

担当：伊藤詔子（広島大学）/岸野英美（松江工業高等専門学校）

塩田弘（広島修道大学）/信岡朝子（東洋大学）

研究発表 11時40分—12時40分

1. 稲富百合子（福岡大学）「イタリアにおけるホーソーンの風景論」

司会：一藤吉清次郎（高知大学）

2. デビッド・ファーネル（福岡大学）

“New Eden: Postapocalyptic Ecotopia in Atwood’s *Oryx & Crake* and *The Year of the Flood*”

司会：マイケル・ゴーマン（広島市立大学）

12時40分—13時30分 昼食

特別講演 13時30分—14時30分

講師：村上清敏先生（金沢大学）

司会：上岡克己（高知大学）

「ロバート・フィンチの『鯨のように』再読」

シンポジウム 14時40分—16時40分

「メルヴィルと環境」

司会：藤江啓子（愛媛大学）

講師 大島由起子（福岡大学）『ピエール』の古層——ジョセフ・ブランとモーリー・ブラン」

辻 祥子（松山大学）「水夫と黒人の環境——『ピリー・パッド』を中心に」

藤本幸伸（山口大学）「環境の見方を記録するイシューメール」

藤江啓子『乙女たちの地獄』に見る労働と環境」

16時45分 閉会の辞 浅井千晶（学会副代表）